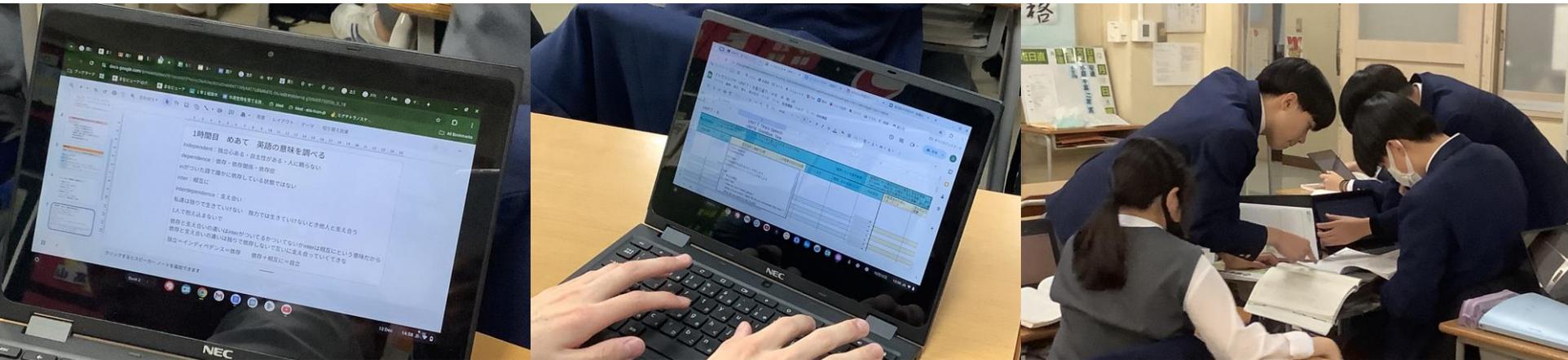


【取組内容】 ①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

校内授業研究会テーマ

「各教科の楽しさや良さを実感して、粘り強く学ぼうとする生徒の育成」

昨年度の実践を継続し、複線型の学習実践を通して、自ら設定した課題に対し生徒が粘り強く取り組む様子が見られる。



単元の計画をいつでも確認できるクラウド環境を生かし、過去の学びも参考に課題を設定する。

自身の学習の進捗が見えるように作成された学習データの活用。

協働のタイミングは自身の課題に直面した時。又は、より内容を深めたい時に自然に発生する。

教師が学習のペースを握ることが少なく、生徒自身が自らの課題を確認し自身のペースで学習を進める様子が見られる。生徒が自身の進捗を確認したり、自身の取組をいつでも振り返ったりすることができるデータが教師から提供され、活用されていることもその要因の1つとして考えられる。